

れんごう中越地協

第1065号2021.2.21
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越地協第2回幹事会

専門部計画や当面の諸課題協議

連合中越地協第2回幹事会が、1月27日(水)午後6時30分から地協事務所で開催された。



最初に報告事項について以下のような事項が報告された。

また、政治関係として連合新潟第3回執行委員会、第49回衆議院選挙に係る候補者推薦として、新潟県第6区梅谷守氏の推薦決定、新潟県第2区高倉栄氏の支持決定、新潟県第5区米山隆一氏の支持決定が報告された。

「2020ながおかワーク&ライフセミナー」(2月27日開催)について運営などを決定し、教宣文化部関係では、組織対策関係とあわせて「全国一斉労働相談ダイヤルキャンペーン」(3月下旬)の実施対応を決定した。

2021春季生活闘争がいよいよスタートします。経団連は、賃上げのモメンタム(勢い)を維持していきたいという考えは組合と同じであるとの見解を示しています。事業の存続と雇用を守るのが最優先課題として、年功序列型昇給制度や終身雇用などの旧日本型雇用の見直しを提起しており、『実績評価型』『ジョブ型』の人事制度へ移行する企業が増加しておりますが、導入にあたっては社内風土・環境が整っていない企業が多く、本来は生産性を高めるはずが実績にとらわれ過ぎて失敗を恐れ、逆に低下する

副議長 野田耕作
あたご3 (No.9)

の懸念があることを理解していただければなりません。仕事の内容や目標が明確になり達成度により報酬が決定しますが、最初に設定した目標値が適正なのか、達成度合いの評価が平等にできなければ成立しない制度でもありません。企業の業績が連動しなければならぬ為、常に労使間で課題を共有しベクトルを合わせることで出来れば大きな成果が生まれます。▼制度による昇給も理解できますが、労使間で折り合いが得られないまま協議することが最も重要であると考えます。共に頑張りましょう!

サラリーマン川柳(平穩は 妻に持たせる 主権) (父ちゃんを 踏まずにまたぐ 思いやり) (国民に しわ寄せよりも 幸せを) (木枯らしに 負けない子供 どんこいった)

